



年末から年始にかけての市民ギャラリーは、「扇子絵」をテーマに展示します。

日本においても、室町時代には扇絵が盛んで、様々な絵柄が扇面に描かれました。この時代、中国で用いられていたのは、団扇（うちわ）で、折り畳みのできる「扇」は日本で始めて創られた後、中国にも伝わったといわれています。書画を通じて日中友好の歴史を味わうことができます。これら贈答品として珍重された扇子絵を展示します。是非、お立ち寄りください。

●展示期間 2023年12月22日（金）～2024年1月18日（木）

（大阪市教育会館休館日を除く）

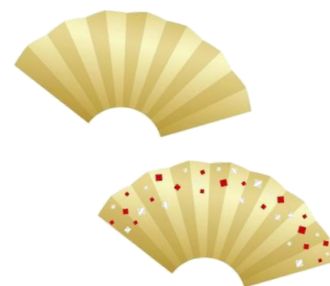
●展示内容 扇子絵

●会場 大阪市教育会館

1階 市民ギャラリー

●開設時間 午前9時30分～午後5時

入場無料



重慶市は中国の南西部、長江上流に位置し、湖北、湖南、貴州、四川、陝西などの省と隣接する。総面積は8万2400平方<sup>キロ</sup>、4番目の中央直轄市。人口は3020万人。漢民族を主とし、トゥチャ族、ミャオ族、回族、満州族など49の少数民族がある。日中戦争当時は、南京を失った国民政府（蒋介石政権）の陪都とされ、抗日戦争の「大後方」であった。昔から中国の西部地区の経済中心地として栄える大都会であり、現在は中国中央政府の制定した西部大開発の中心地である。

重慶文史研究館は毛沢東の提案により設置された徳望が高いアーティストや学者を集める組織。1951年、毛沢東の先生である符定一氏を初代館長とする中央文史研究館の設置に続き、1953年、重慶市文史研究館が設立された。正式館員になる資格としては文化及び歴史の分野で深い造詣を持つ60歳以上の学者とされ、市長から証書をもらう。

業務内容は主に三つ。

**歴史の編修** 《重慶市志略》、《辛亥革命50周年記念専巻》、《巴渝故実録》など

**学術交流** 《詩吟大会》、《重慶大爆撃座談会》、《杜甫研究》など

**書画活動** 書道、絵画、篆刻芸術等は文史館の重要業務

（上海市職工中心関西事務所）

